

エゾシカカフェ店主敬白

VOL.43 2011/4/29

こんにちは、エゾシカカフェ店主の石崎です。

エゾシカカフェは、そのまま名前の通り、エゾシカ料理をご提供するカフェですが、本当のコンセプトは、「エゾシカ好きのオーラをあてて、エゾシカ大好きにさせる」ことにあります。

店主敬白も、皆さんにエゾシカのことをもっと知ってもらい、しかも大好きになってもらうためのものです。肩肘張らず、軽い気持ちで読んでみるしかない？

被災地でレストランを開業するために！

クイージのお客さまのシェフ（熱血漢）と話をしている、こんなアイデアが浮かびました。被災されている飲食関係の方を東京のレストランで半年～数年修行してもらおう。修行が終わった後は、地元に戻ってもらい、レストラン開業をしてもらおう。もちろん、修行期間も給料を出し、開業資金や開業時のサポートも行う。です。どうでしょうか？南相馬の友人に話すと、「地元での開業を目標にして、今を頑張るってすごい生きがいになると思う。本当に必要なのは金よりも仕事だと思う。」と答えてくれました。

とても意義があるプロジェクトになりそうです。



プロジェクトに必要なこと

まず、受け入れるレストランが必要です。ひとつのレストランで、10人や20人を受け入れることは無理ですので、多くの被災者に職を提供するには多くのレストランに共感してもらい必要があります。

さらに、給料を出すための原資も必要になります。政府の緊急雇用対策（1名あたり90万円）も活用しますが、半年～数年の間の給料はかなりの額になります。既にお客さんが少なく売上が少なくなっているレストランにこれ以上の負担をかけることは難しいです、なんらかの対策が必要になります。

最後に、地元で開業する際のサポートです。家やお店がなくなつて、借金だけが残っていることも考えられます。開業時のまとまった資金を融資する仕掛けや、開業後の店舗サポートをするためのスタッフなどが必要になると思います。

さて、どうでしょう？簡単なことではないですが、これから一番困るのは、被災地の地元で仕事がないことです。東京で仕事をしながら、地元に戻って街の再建に貢献するという、ものすごくポジティブなプロジェクトだと思っています。ぜひ、皆様にもご協力いただきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。



※なお、シカチャ7義捐金：前回までで 35,000 円越えました！（14T 含む）ありがとうございます。

どこに、義捐金を渡すか考え中ですが、市町村に直接渡すか、フロのボランティアに渡したいと思っています。